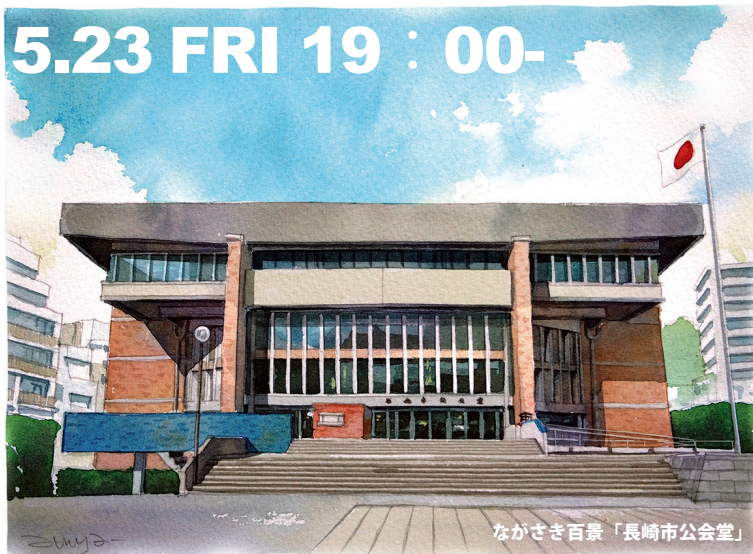


残さんばさ 公会堂トークライブ

5.23 FRI 19:00-



私たちは、これまで長崎市公会堂の見学会や街歩きの開催とともに、存続・再生の要望や陳情をしてきました。陳情については、去る2月定例会市議会で継続審議となりましたが、市民の立場から、この問題をひろく議論する必要があると考えました。また、公会堂を含む長崎国際文化センター建設事業の全容が記された貴重な資料を入手し、当日、公開を予定しています。パネリストには、長崎県職員としてこの事業に尽力された方や、近代建築の記録保存機関

世界に協力を訴えながら復活を目指した原爆復興を象徴する長崎市公会堂被爆70周年を来年に控えその建物の価値と解体の是非そして、長崎の文化が問われています

会場：メルカ築町プラザホール
長崎市築町3番18号メルカつきまち5F / TEL095-823-9339

日時：2014年5月23日(金)
午後6時半開場、7時開始

参加費無料。先着順。定員274席。

申し込み不要につき、直接会場にお越し下さい。

パネルディスカッション

◎問題提起 / 林一馬：長崎都市遺産研究会代表・長崎総合科学大学名誉教授

◎パネリスト

松隈洋：DOCOMOMO JAPAN 代表・京都工芸繊維大学教授

小田浩爾：元長崎県総務部長

本田時夫：株式会社梅月堂代表取締役

尾上明美：長崎市民劇場代表幹事

◎コーディネーター / 林一馬

DOCOMOMO JAPAN 代表、まちづくりを支える経済人、そして、公会堂を拠点に永く活動してきた長崎市民劇場代表など、さまざまな立場からご意見を伺います。尚、長崎市に対してはパネリストの派遣を要請しましたが、残念ながら却下されました。

反対意見をお持ちの方はもちろん、どっちともつかない方、そもそも公会堂問題って何？という方まで、どなたでも歓迎いたします。

林一馬 × 松隈洋 × 小田浩爾 × 本田時夫 × 尾上明美 × 市民の皆さん

主催 長崎都市遺産研究会

長崎都市遺産研究会とは

長崎市公会堂の存続が危ぶまれる中で、その建築的意義を広く知ってもらおうと、2013年から活動を開始しました。都市は生命体のようなものである、とよく言われますが、建築物はその中において重要な構成要素です。その構成物が、長期的なビジョンをもたない都市経営的な視点でのみ捉えられることには、大きな問題があり、建築の存在意義は歴史を踏まえて問われる必要があります。長崎都市遺産研究会は、都市の中で埋もれていた、解体されようとしている貴重な建築遺産を発掘、保全し、次世代に継承するための支援活動を行う市民団体です。

代表：林一馬 / 長崎総合科学大学名誉教授
副代表：中村享一 / 一字一級建築士事務所代表
：鉄川進 / 鉄川進一級建築士事務所代表

問合せ先

長崎都市遺産研究会事務局

(一字一級建築士事務所内)

〒850-0065 長崎市入船町7-5

TEL: 095-861-8626 FAX: 050-3153-0049

e-mail: kokaido.nagasaki@gmail.com

Web: <http://www.nagasaki-city-legacy.info>

Facebook: www.facebook.com/heritage.nagasaki



すでにご承知の通り、長崎市では公会堂を取り壊して、そこに新しい市役所を建設する計画を発表しています。これに対して私たちは公会堂の存続・再生をもとめる立場から、市に要望書を提出し、また市議会には意見陳述の機会を得てきました。その過程で、次第に明らかになってきたことも少なくありません。

例えば、長崎市はこれまでに議論を積み重ねてきた結果であることを主張していますが、公会堂の建築的な価値や都市的な意義について、まともな議論をした形跡はまったくありません。それどころか、建築的には素人の人が多い委員会に対しては、現在地での建替えの難しさを強弁し、一方では公会堂の老朽化や耐震補強の難しさを強調するために誤った情報を提供するなど、議論を都合よく誘導してきた疑いもなしとはしません。さらには、市の計画をそのまま実現するためには、現在の前面広場を都市公園の指定から解除し、また地区の容積率を積み増ししなければならないことも判明してきました。しかし市がもし自己の都合で都市計画決定を変更するようであれば、今後のまちづくりにおいて民間を規制する根拠を失うことになってしまいます。これはとんでもない暴挙と言わざるを得ません。

また他方で、そもそも公会堂の建物は、現代の私たちがそんなに安易に取り壊してよいものかどうか、もっと大事なものではなかったのか、といったより根本的な疑問も同時に出てきています。全国の他都市では、公会堂と建設時期が近い公共施設を保存改修し、これからのまちづくりに資するような試みもすでに出てきています。

これが、長崎市にとっての宝のものであり、市民の財産でもある公会堂について、もう一度立ち止まって考える機会をつくろうとするゆえんです。

多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。